

大黒空間

Concept

大黒柱は、住まいを支える。
大黒柱は、家族の心を支える。

大黒柱は、住まいの中心となる。
大黒柱を中心として、家族の生活がいとなまれる。

大黒柱を、空間へと転換する。大黒空間。
大黒空間のある家によって、現代日本における住まいの原点を創造する。

日本家屋など、古くからの木造住宅には「大黒柱」があり、住まいを支え、家族の心を支えていた。大黒柱は、その住宅において真っ先につくられる部分であり、そこに住まう家族にとって生活の中心として認知され、さらに、それは家族そのものの象徴でもある。

そして、そこには、形式から家族みんなが共有できる求心性が存在していると考えられる。

しかし、何もかも曖昧で、ぼんやりしたものが好まれる昨今の社会では、家族という共同体のなかにおいても、個々人のプライバシーを求めて、住まいは個別化しつつある。その中では、家族の意識は常に拡散し、重要視されるべきはプライベートな部分（マイルーム）であり個人となっている。

それにより、家族みんなが共有した感覚を得られる機会は皆無となってしまう、住まいの個別化を一層助長している。

そこで、本計画では、先に述べたような住まいの個別化という現状に着目し、それを打開すべく、家族が日々の生活のなかで、求心性のような、みんなが共有できる感覚を与える住宅を提案する。

しかし、従来のように、大黒柱そのものを住宅の主要な形式として中心に据えるだけでは、視覚的に得られる求心性を共有するに留まってしまう。

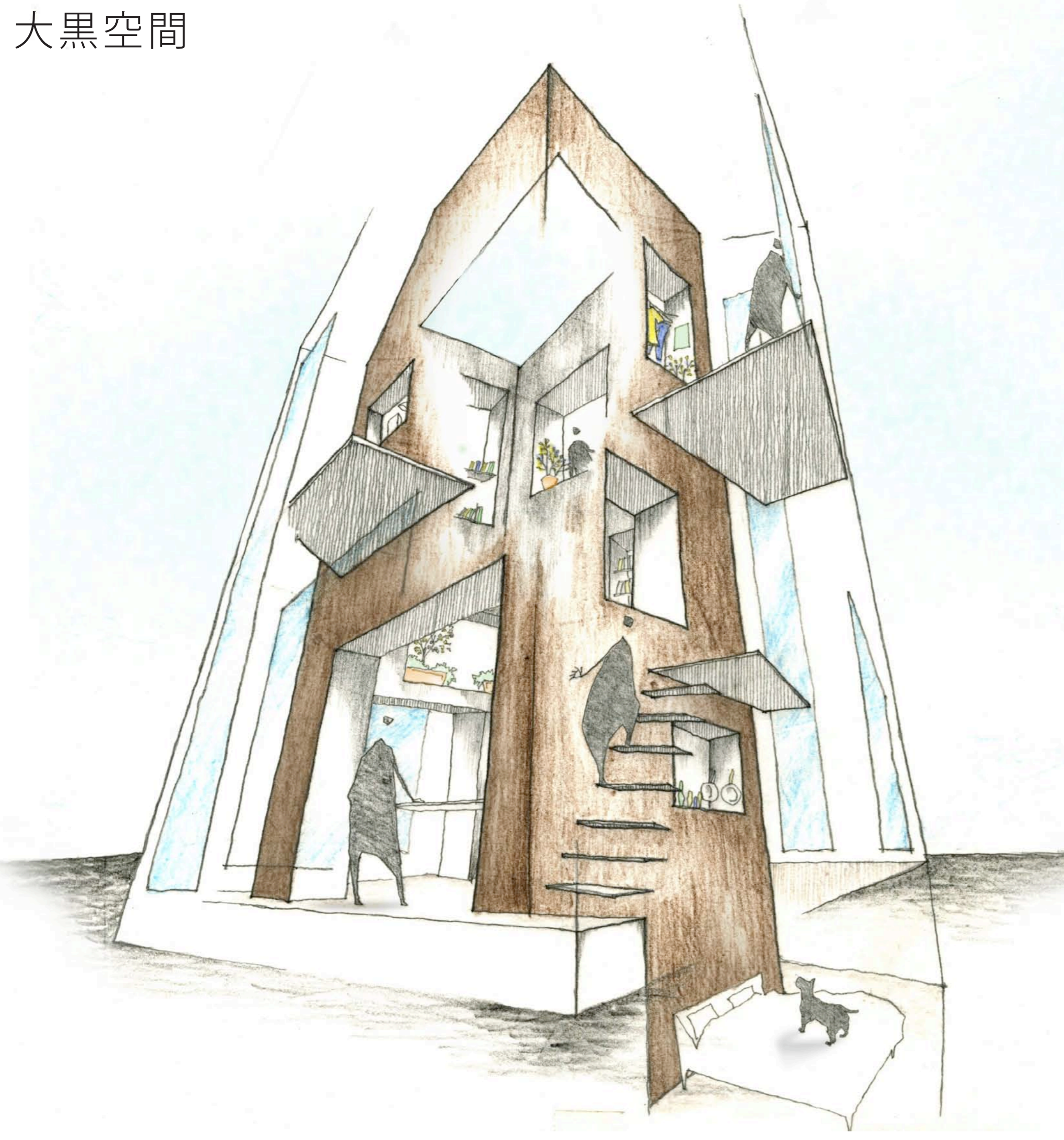
そこでは、大黒柱に代わり得るものが必要であり、さらには、この求心性を与える要素は、必ずしも大黒“柱”である必要はない。

そこで、大黒柱を空間化し、大黒“空間”として計画する。

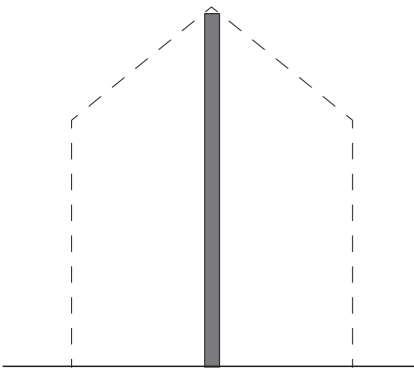
それにより、大黒空間を中心として日常的にその周囲や内部で生活でき、大黒柱のように形式から視覚的に得られる求心性が共有されるだけでなく、視覚以外の行為からも求心性を共有することができるようになる。

以上により、大黒空間による求心性を、家族みんなが共有することのできる住宅は、「1つの共同体」という、本来、「家族」のあるべき姿を現代に実現することができるという。

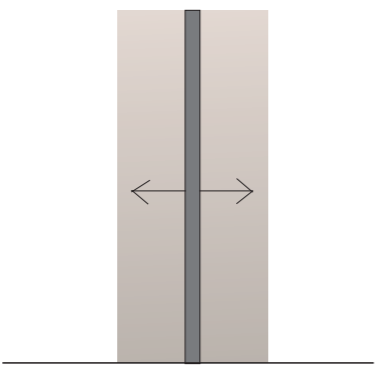
つまり、家族本来の姿を実現させることのできる住まいこそ、「住まいの原点」にふさわしい。



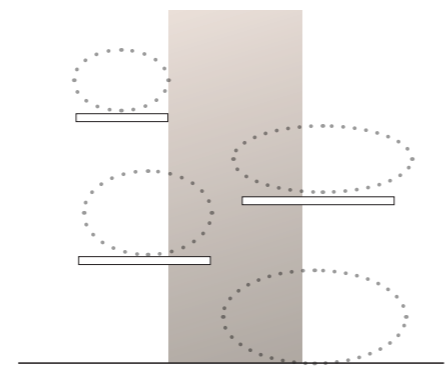
Diagram



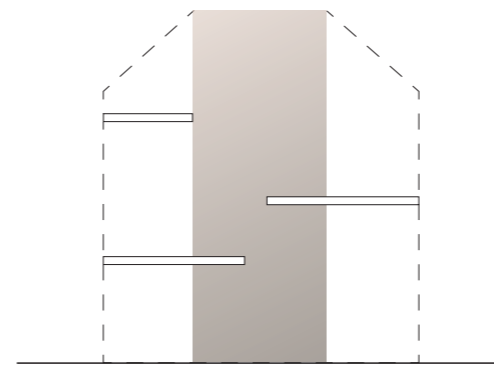
古い木造住宅の大黒柱。
大黒柱は、住まいを支え、家族の心を支えてきた。



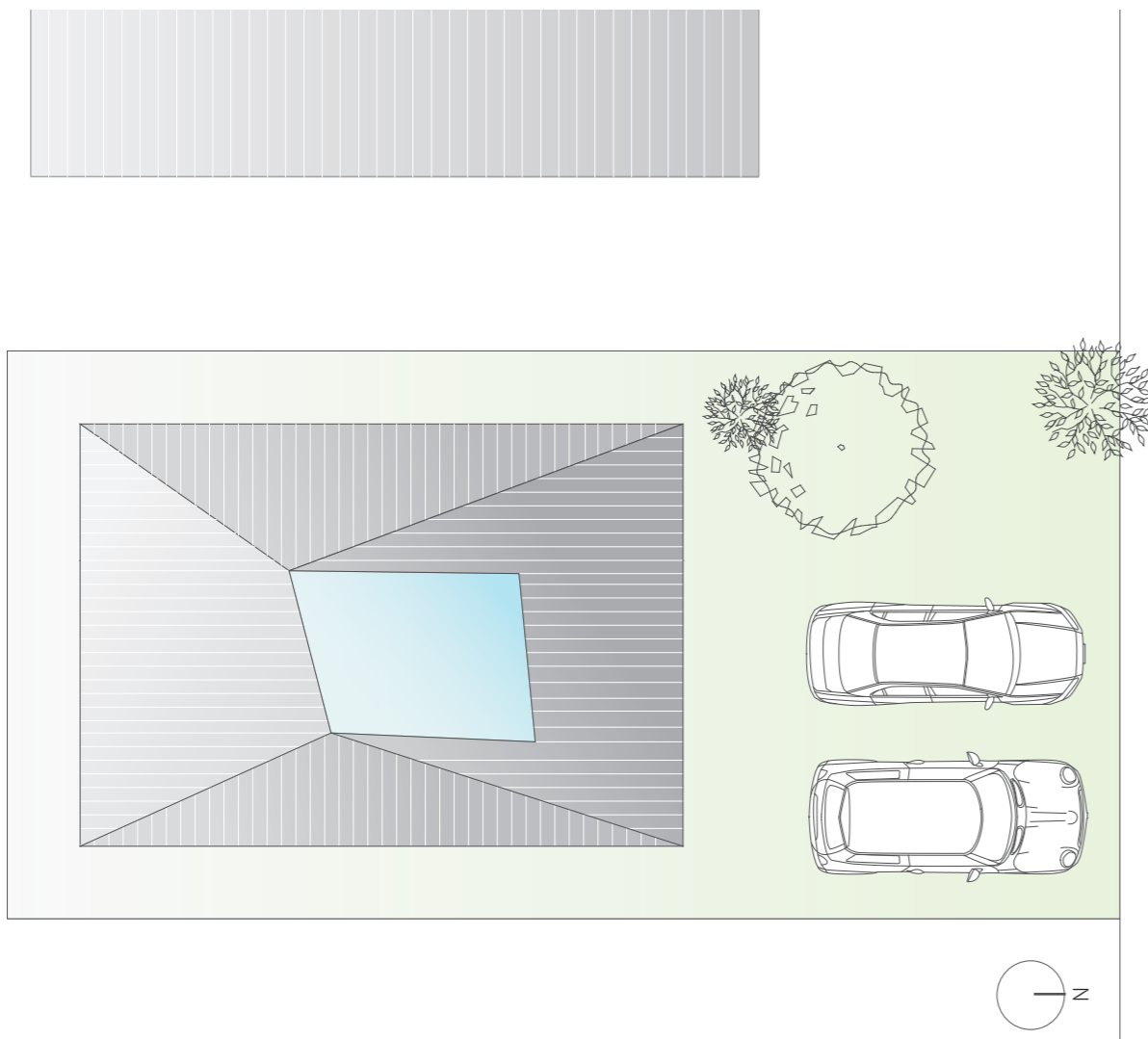
大黒柱を空間化する。
“大黒空間”の誕生。



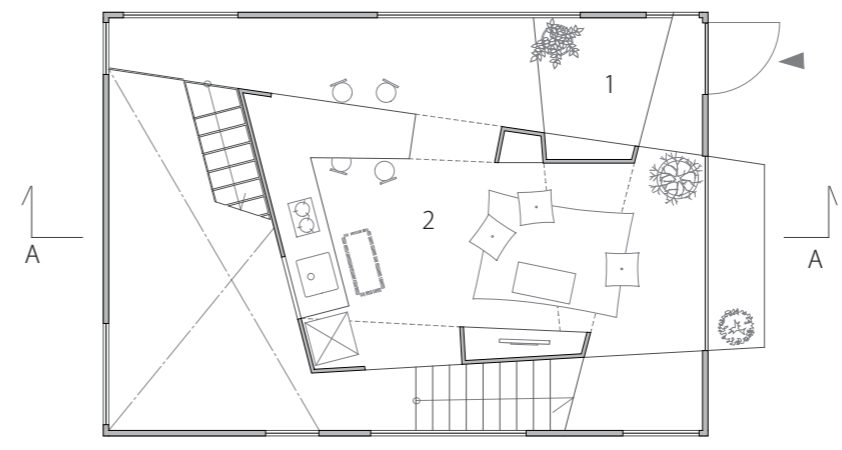
大黒空間の周囲でいとなまれる生活と、大黒空間自体（内部）でいとなまれる生活。
大黒空間から得られる、家族みんなが共有する“求心性”という感覚。



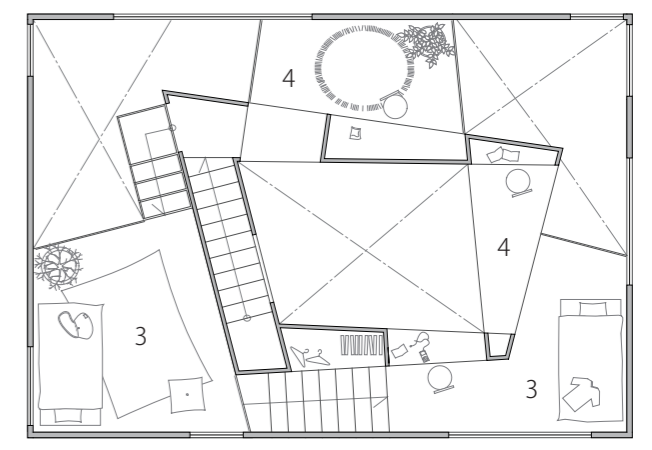
さらに大きな1つの空間で包み込む。
求心性という感覚の共有により、本来「家族」のあるべき姿（家族＝共同体）を現代に実現できる住まいこそ、新たな「住まいの原点」にふさわしい。



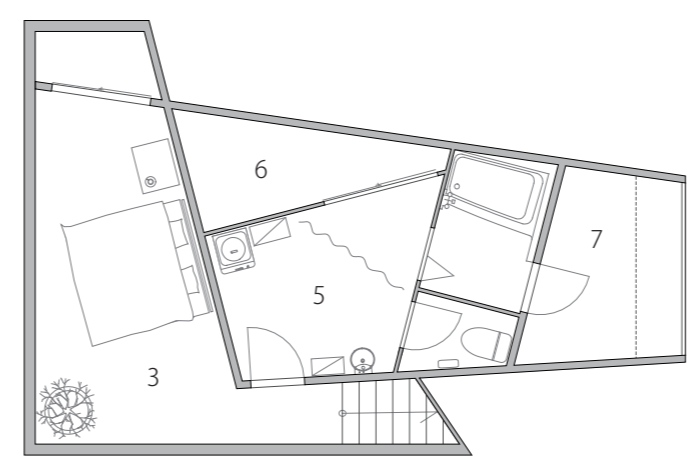
Site + Roof plan (scale: 1/100)



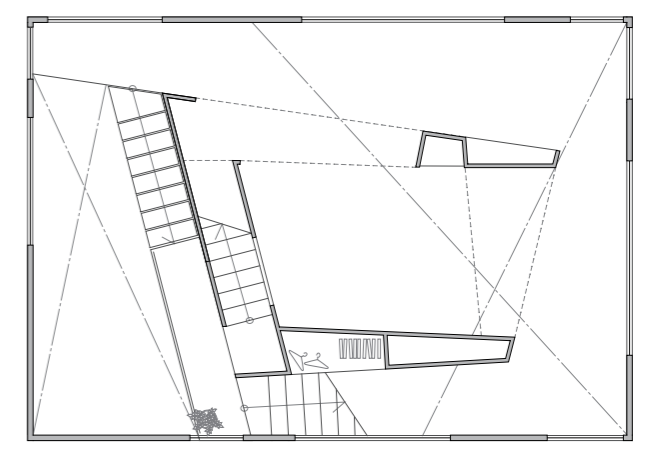
1st floor plan



2nd floor plan



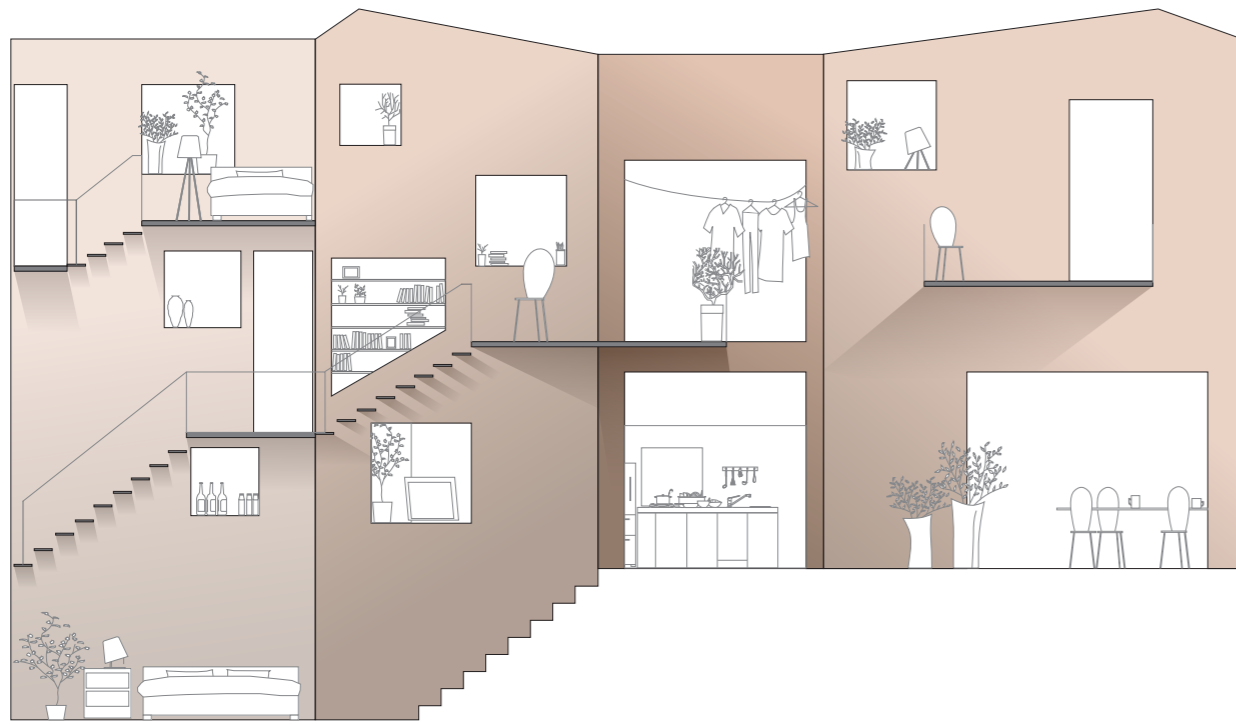
Basement floor plan



Semi 2nd floor plan

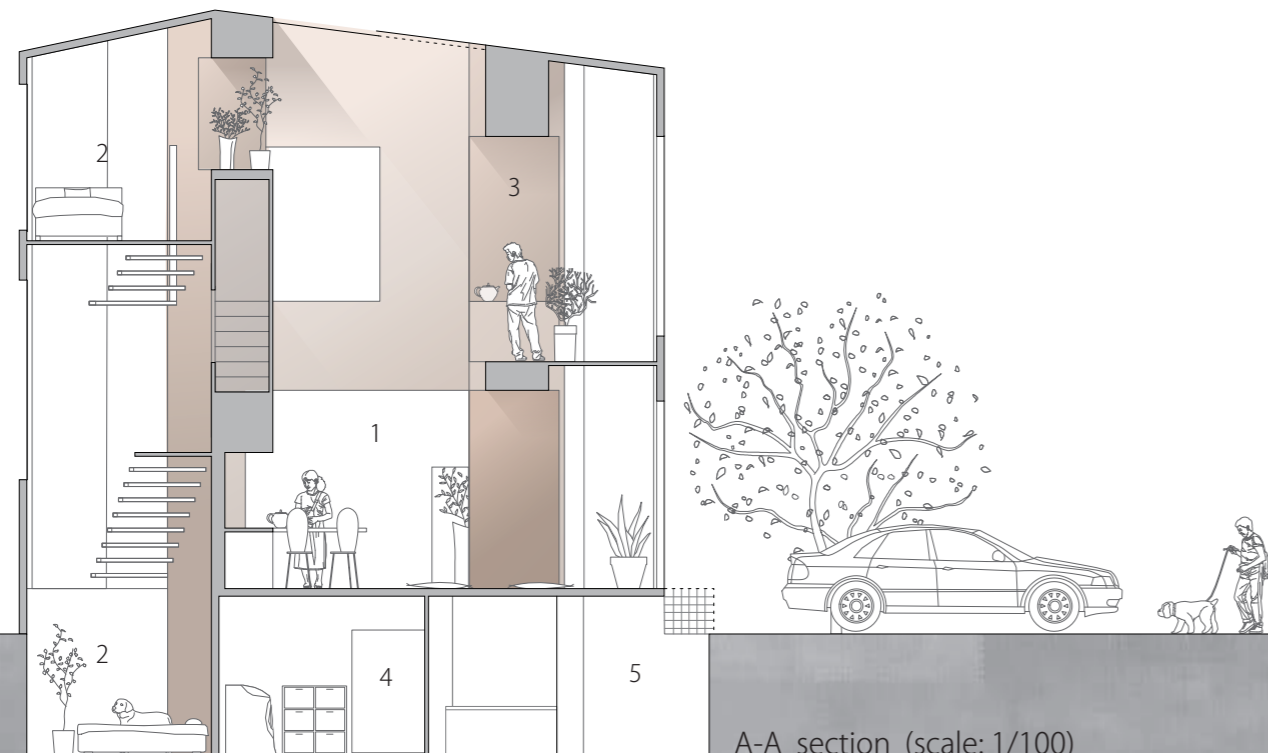
Plan (scale: 1/100)

- 1. エントランス 2. リビング・ダイニング・キッチン 3. 寝る場所 4. 机のある場所 5. 浴室・トイレ等 6. 納戸 7. ドライエリア



大黒空間展開 North-West-South-East (scale: 1/100)

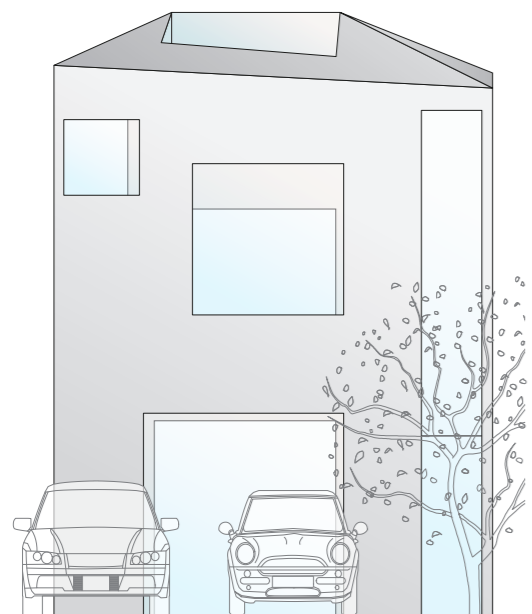
個人の為の閉じた場所（マイルーム）を与えるのではなく、1つの大きな空間に「寝る場所」「机がある場所」など、置かれるものによって行為を可変的に選択できるような場所を与える。



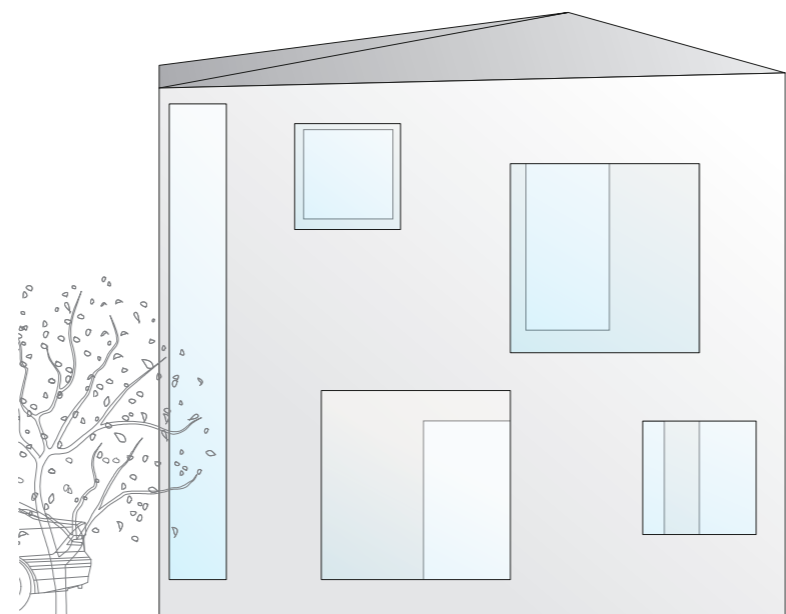
A-A section (scale: 1/100)

1. リビング・ダイニング・キッチン 2. 寝る場所 3. 机のある場所 4. 浴室・トイレ等 5. ドライエリア

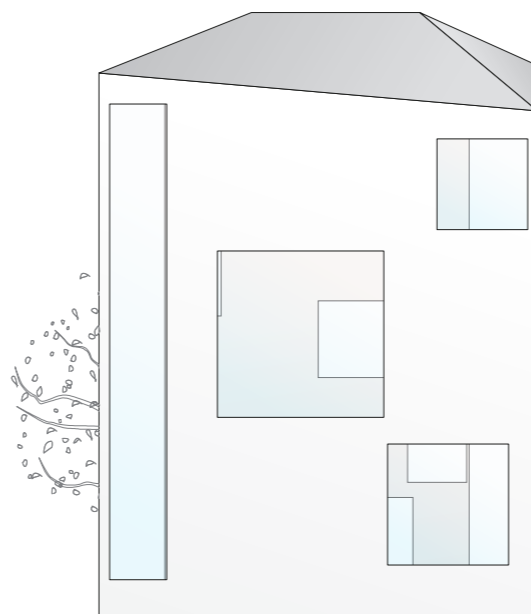




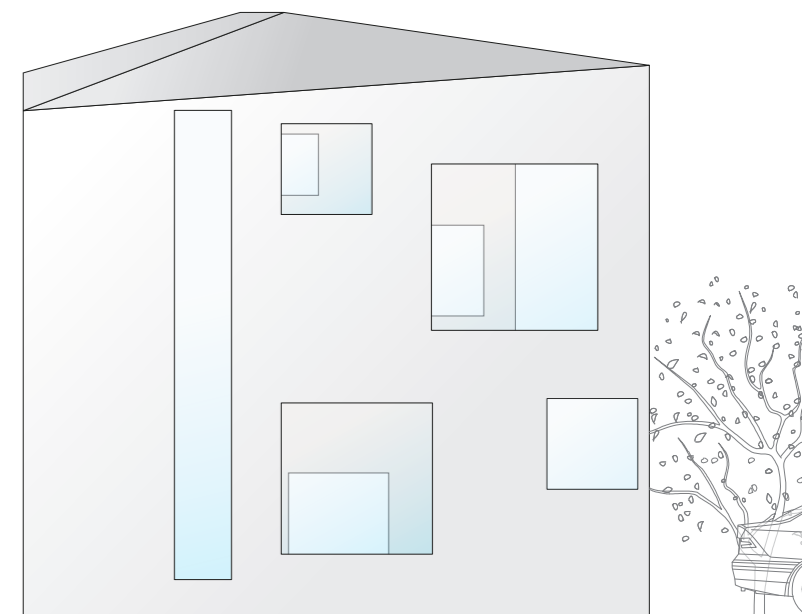
North elevation



East elevation



South elevation



West elevation



1/20 Section Scale 1/50

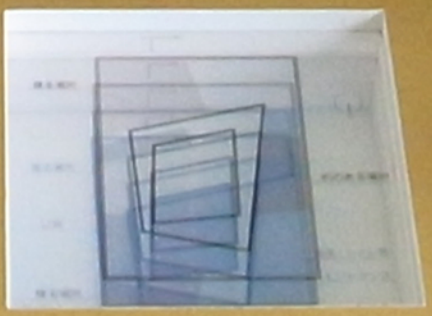
大黑空間

這是一個關於空間設計的作品，旨在探討空間的利用與美感。設計者通過巧妙的空間分割與傢俱擺放，創造出一個既實用又具有藝術感的居住環境。作品展示了如何將有限的空間轉化為一個舒適、溫馨的家。

設計理念：空間的利用與美感的平衡。

設計過程：從概念到實作的完整過程。

設計成果：一個具有獨特風格的居住空間。



1/20 Scale 1/50